

沼津市青少年教育センター

たより

平成25年10月号 No. 504

〒410-0881 沼津市八幡町97番地 ☎(055)951-3440 FAX(055)952-3300



共によりよく生きていく社会に

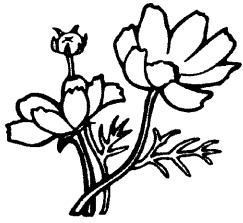
学校教育課長 鈴木 珠美

「バカッター」という言葉を聞いたことがありますか。今年の夏頃から、コンビニや飲食店で客や店員が不適切な行為を行い、その写真をインターネット上で公開するケースが頻発し、問題視されています。従業員がアイスケースの中に入って写真を撮った場合では、店側は衛生面からアイスを含めて撤去し、店内を消毒、お客さんへの返金や謝罪に追われました。不適切行為をしたり、撮影したりした人は解雇され、通学していた学校を退学になった人もいます。さらに、各社は損害賠償を検討しているとのこと。あとから事の重大さがわかったある少年の一言「目立ちたかった。」

2007年度発表の国際調査で、「自分は孤独を感じるか」という質問に「はい」と答えた子ども（15歳）の割合は29.8%で、日本が24か国中トップ。ほぼ3人に1人が孤独を感じており、日本の子どもの孤独感は世界一という結果となりました。また、日本・アメリカ・中国・韓国の高校生1000人を対象とした調査結果では、日本の子どもは、自己肯定感が4か国の中で最低で、「相談できる友達がいる」「信頼できる他人や助けてくれる団体や組織がある」の肯定率も最低でした。

なぜ、日本の子どもたちは、こんなに寂しいのでしょうか。どうしたら、自尊感情のもてる子どもに育てていくのでしょうか。改正教育基本法が制定され、その実現を図る新学習指導要領が全面実施され、未曾有の東日本大震災からの復興問題に直面している今こそ、私たち大人が、家庭と学校の両輪で、心の教育に真剣に取り組むべきだと思います。家庭では、お父さんやお母さんが子どもの話をよく聞いてあげることや、他の子どもと比べないで、自分の子どものよさを認めてあげること、子ども自身が夢や希望を持てるようにしてあげることが大切だと思います。

学校では、道徳教育の充実に向けて、子どもたちと共によりよい生き方を求めて、助け合い、励まし合い、高め合っていくこうとする姿勢で、授業をつくりあげてほしいと思います。普段の授業の中でも、子どもたちが「できた」「わかった」という喜びと共に、「みんなで学ぶと楽しい」という思いを共有してほしいです。また、人の心の痛みがわかる、人としてどうふるまえばいいか判断できる価値の選択力も身につけてほしいと思います。大人の多忙化が進む中だからこそ、家庭でも、学校でも、子どもとたくさん語り合い、向き合う時間を大切にしていきたいですね。



わたしの主張

県内10,454応募作品の中から「わたしの主張2013」静岡県大会に選ばれた13作品の中で、最優秀賞を受賞した作品を紹介します。

自分のいる意味

浮島中学校 3年 勝又 彩

「誰かに必要とされているのだろうか、私って・・・。」最近よく抱く疑問です。

みなさんは「アイデンティティ」という言葉を知っていますか。私がこの言葉を聞いたのは、三年程前のことです。テレビを見ていたとき、心理学者の方が言っていました。

「青年期の仕事は、アイデンティティを見つけることだ。」アイデンティティを辞書で調べると、「自分という存在についての自覚。」と書いてありました。しかし、難しくて分かりづらいので、私は「自分らしい、自分に自信を持てるところ。」なのではないかと思っています。最初に「アイデンティティ」という言葉を聞いたときは（ふーん。そんな言葉があるんだ。）くらいにしか思っていませんでした。しかし、心のどこかにこの言葉が残っていたのか、人に迷惑をかけてしまったとき、誰からも必要とされていないと感じたとき、ふとした瞬間にこの言葉について考えるようになっていました。

私は、バレー部に所属しています。バレーが好きで、バレー部の仲間のことが大好きです。しかし正直言って、私はバレーが下手です。試合の度に足を引っ張ってしまう自分が嫌で嫌で仕方ありませんでした。（頑張りたい。）という気持ちとは裏腹に、空回りして失敗ばかりしていました。そして（私は本当に何もできないな。）と、自分の無力さを痛感しました。仲間は声をかけてくれ、コーチや監督が私の為に一生懸命指導してくれる。でも、なかなか思うようにできない。そんな状況にやりきれない思いでいっぱいでした。ある日、私がこの悩みを友人に打ち明けると、友人はこう言いました。「できないところは皆でカバーするよ。それより、自分ができることを探してみたら。」

私は、はっとしました。その時の私は悪いところばかりに目を向け、自らによって何も出来ない人間にしていたのです。そして、あの言葉を思い出しました。「アイデンティティ」という言葉を。自分が自信を持てるところ、自分にしかできないことをこれからは探してみよう、そう思いました。友人の言葉を受けて以来、私は「誰よりも声を出す。」という目標

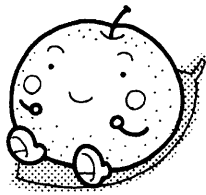
を立て部活に励みました。どんな簡単なことでも良いから、一つでも誰かに認められたい、という気持ちが芽生え始めていました。チームの仲間から「うるさい。」と言われるくらい声を出しました。そして、そのうるさい声が目撃前になるまで出し続けました。意識しなくても自然に声が出るようになると、自分の中で「声が出せる。」という自信に少しずつ変わっていくのが分かりました。すると、監督から「彩はよく声が出るね。」と誉められることが多くなりました。自分を評価してもらい、声を認めてもらったことが更に自信となりました。何より、人に必要とされた、と感じることができたのが嬉しかったのです。以来、落胆することがあっても、次は頑張ろう、と前向きに捉えられるようになりました。以前と決定的に違うことは、自分に自信を持っている、ということです。これだけで心持が百八十度変わったのです。なんとなく、アイデンティティの意味が分かったような気がしました。

最近、いじめが原因で自殺してしまった、というニュースをよく耳にします。私は、このニュースを見ながら思いました。（誰かに必要とされていたら、自分に自信を持っていたら結果は違っていたのかも知れない。）周囲から罵倒され（ああ、自分は周りからすればこんな程度の奴だったんだ。いない方が良いのかな。）と、自分のいる意味を疑ってしまうのかもしれない。人から必要とされることが自分の意味を理解するきっかけになることも少なくないような気がします。「誰かに必要とされているのだろうか、私って・・・。」最近よく抱く疑問です。人は誰しも他人に、誰かに、評価されたい、必要とされたい、と思っています。しかし「誰か」に必要とされることよりもまず、「自分が」自分を必要としなければいけないのです。

十代の私達には、まだまだたくさんの時間と未来があります。だから私は、人との衝突や自分との葛藤を乗り越えながら、青年期の仕事をこなしていこうと思います。

みなさんの「アイデンティティ」とは何ですか！

面接相談



- ◎ 非行・不登校・発達・子育て・進路・対人関係など青少年に関する面接相談。
- ◎ 相談および申し込み受け付け時間：午前9時～午後5時 月～金曜日（祝祭日を除く）
- ◎ 相談申し込み：Tel 951-3440

平成25年8月・9月の状況

8・9月には新たに申込みがあった11件（8月2件、9月9件）を含め、48件（延べ相談回数233回）の相談に応じました。

1. 相談内容別新規相談件数

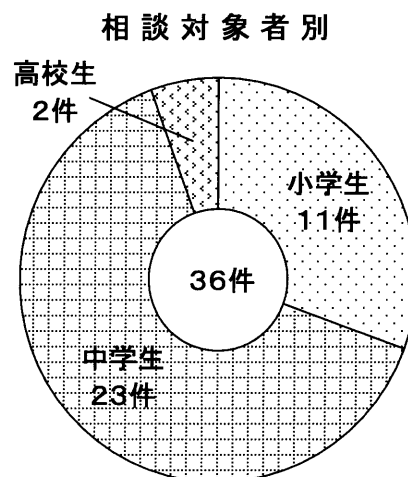
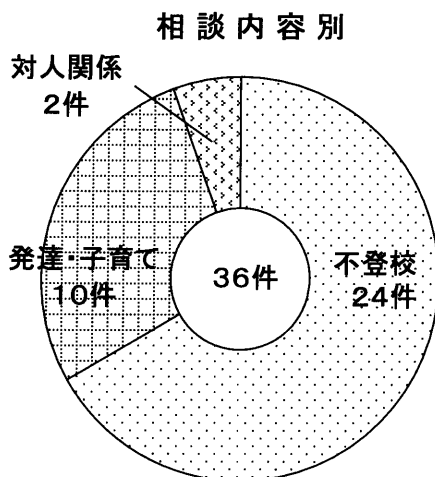
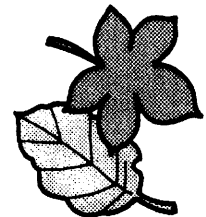
	非行	不登校	発達・子育て	進路・適性	対人関係	その他	合計
8月	0	1	1	0	0	0	2
9月	0	6	2	0	1	0	9

2. 相談対象者別

	幼児	小学生	中学生	高校生	少年	一般成人	合計
8月	0	1	1	0	0	0	2
9月	0	2	7	0	0	0	9

3. 今年度の新規相談受付状況

受付件数 36件 （前年同期 24件）



4. 8・9月に応じた相談件数（新規相談＋継続相談）

対象	性別	非行	不登校	子育て・発達	進路・適性	対人関係	その他	計
幼児	男							0
	女							0
小学生	男		4	3				7
	女		1	3				4
中学生	男		11	4		1		16
	女		14	1				15
高校生	男		1					1
	女							0
少年	男				1	2		3
	女				1			1
一般成人	男					1		1
	女							0
計	男	0	16	7	1	4	0	28
	女	0	15	4	1	0	0	20
男女合計		0	31	11	2	4	0	48

5. 8・9月の相談回数（48件の相談に要した延べ回数）

月	性別	面接	訪問	その他	合計
8・9月	男	84	18	27	129
	女	83	6	15	104
	計	167	24	42	233

相談指導学級 学級担当

7月22日（月）、学校の1学期終業式の前日に相談指導学級の1学期が終了しました。以降8月29日までは、学校は夏休みですが、相談指導学級は可能な限り開級しました。午前中ですが、通常と同じように学習活動を行いました。夏休み中ということで、通級生の数は通常よりも少なかったですが、熱心に学力向上に努めていました。

学校の2学期始業式の翌日8月30日（金）に相談指導学級の2学期が始まりました。学校の終業式・始業式に参加してほしいという願いがあり、それぞれの日の閉級・開級は避けましたが、半数以上の生徒が参加できました。夏休みは子どもの様々な変化が見られた時期でした。相談指導学級では、登校できるようになった生徒もあり通級生が若干減りましたが、9月に入って日を追うごとに相談が増えています。

体験活動はばたきも9月10日（火）から再開し、畑の除草活動、創作活動、福祉体験、富士山周辺自然観察など、バラエティに富んだものを実施しています。2学期は何事にもじっくりと取り組みやすい学期ですので、充実した日々を過ごすことを願っています。

電話相談



◎非行・不登校・発達・進路・対人関係など青少年に関する相談。

◎相談時間：午前10時～午後7時 月～金曜日
(祝祭日を除く)

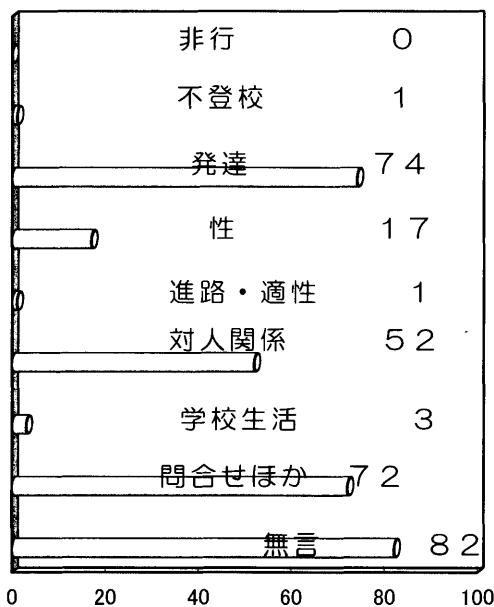
◎愛称：やまびこ電話 951-7330

平成25年8月・9月の状況

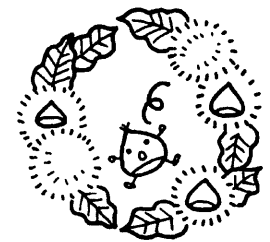
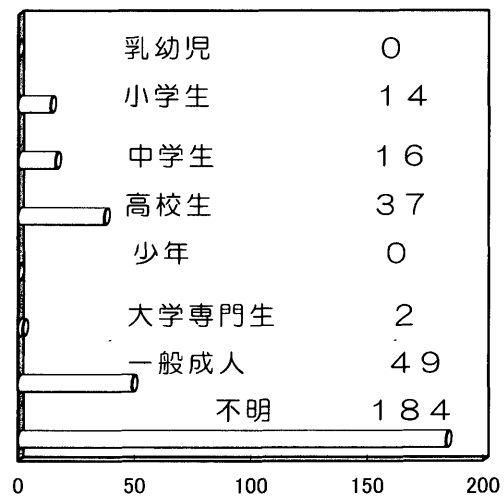
8月には161件、9月には141件の相談が寄せられました。
(前年8月：162件、前年9月：172件)

1. 8・9月の相談状況

相談内容別件数



相談対象者別件数



2. 今年度の電話相談受信件数状況(平成25年度)

総件数 1,302件 (前年同期 1,092件)

(1) 相談内容別

内容	非行	不登校	発達	性	進路・適性	対人関係	学校生活	問合せほか	無言
件数	2	5	326	52	3	182	8	293	431

(2) 相談対象者別

内容	乳幼児	小学生	中学生	高校生	少年	大学専門生	一般成人	不明
件数	0	42	55	223	2	3	189	788

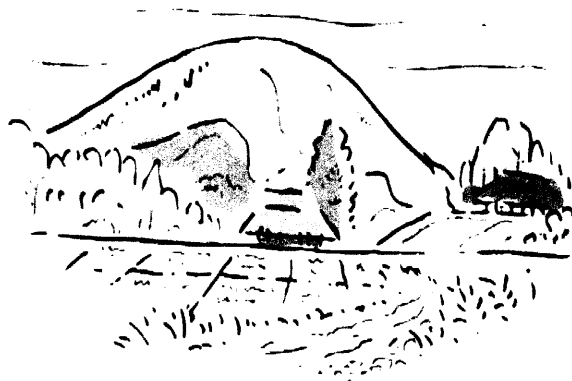


子どもたちに声掛けを

女性補導委員 桑山 一子

日常生活の中で、声を掛けやすい挨拶があります。「おはよう」「こんにちは」「おかえりなさい」「気をつけてね」「ありがとう」など子どもたちに接する機会があったら是非積極的に声掛けをしてみてください。我が子や我が孫と同じように、となり近所の子どもたちにも声掛け、呼び掛け、子どもたちと同じ目線で同じ気持ちになって話し掛けてください。大人の人たちが、いつも自分たちを見守ってくれている事をよく知っている子どもたちは、安心感を抱くとともに、きっと強く、心優しい思いやりのある大人になると思います。

子どもたちの個性を見つめ個性を伸ばすように、心掛けをしたいと思います。学校や地域社会、そして親が子どもたちに声掛けをして、見守って行きたいと思います。



1 少年補導委員の延べ参加人数（8月・9月）

区別		市職員	教員	地区 補導委員	女性 補導委員	母親 補導委員	警察関係	総数
人数	8月	9	13	655	8	3	2	690
	9月	7	17	316	7	7	2	356

2 補導回数・補導状況（8月・9月）

	補導回数				声かけ 注意・指導	事後指導	
	午前	午後	夜間	計		学校・親等へ連絡	他機関へ連絡
8月	2	9	49	60	105	0	0
9月	2	11	39	52	169	0	0

3 平成25年度 4月からの補導活動累計

補導回数	延べ 参加補導委員数	声かけ 注意・指導	事後指導	
			学校・親等へ連絡	他機関へ連絡
257	2,152	632	0	0

8月・9月の街頭補導少年の学職別状況（中央補導・地区別補導）

8月中は、夏休みということで連日小・中・高校生が街にたいへん多い状況でした。9月になると、昼間はほとんど見られなくなりました。街のようすを見る限りでは、各学校ともおおむね順調な2学期のスタートが切れたのではないかと思います。

学 職 別 区 分		性別	小学生	中学生	高校生	その他学生	有職少年	無職少年	計	四月からの 累計
飲	酒	男							0	
		女							0	
喫	煙	男							0	
		女							0	
夜 間 は い か い		男			12				12	20
		女			6				6	8
不 良 交 友		男							0	
		女							0	
怠 学 ・ 怠 業		男							0	
		女							0	
為	ゲームセンター入場	男		25	63				88	214
		女	2	11	38				51	91
種	パチンコ店入場	男							0	
		女							0	
別	カラオケ店入場	男			10				10	10
		女			10				10	14
	自転車の暴走行為	男							0	
		女							0	
	自転車の二人乗り	男		2					2	12
		女		4					4	8
	自転車の無灯火	男		3	2				5	24
		女		3	1				4	11
	危険な遊び	男							0	12
		女							0	6
	そ の 他	男		2	34		10		46	123
		女		11	22		3		36	79
計		男	0	32	121	0	10	0	163	415
		女	2	29	77	0	3	0	111	217
男 女 合 計			2	61	198	0	13	0	274	632

事後	家庭・学校・職場へ連絡	男							0	
		女							0	
指導	他機関へ連絡	男							0	
		女							0	
合 計			0	0	0	0	0	0	0	0

情報コーナー

不審者情報

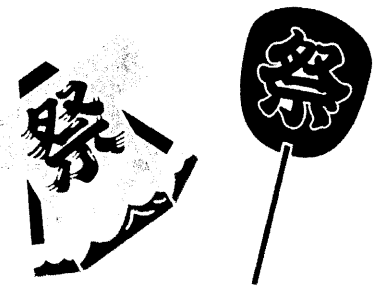
夏休み中、市教委にあがった不審者情報は1件。中2の女子が、リコー通り「ノジマ」付近の路上で下半身露出の男に遭遇しました。被害者も逃げ、露出した男も走って逃げたため実害はありませんでした。

2学期が始まり9月に入って、13日現在、下半身露出が1件（沢田小）お尻を触られる1件（今沢小）の報告がありました。これらの情報は、近隣の学校間にも情報が流されて、子どもたちにも注意をするよう各学校で指導しています。時には先生方が登下校の指導もしています。

1学期に静浦地区で出没した変質者は、様々な情報から犯人が特定され逮捕されました。

補導のお礼

県内一斉夏季少年補導・立入調査では、市内で約520名の方々に参加していただきました。また、夏まつり補導は、2日間で延べ約700名の方々に参加していただきました。日頃の地道な補導活動が青少年の非行防止に果たす役割は大きなものがあります。今後も引き続きよろしくお願ひいたします。



センターの活動予定（11月・12月の主な活動予定）

日 程	活動（行事）予定	日 程	活動（行事）予定
11月 5日（火）	高校生による落書きクリーン作戦	11月 5日（火）	【体験活動はばたき】 新体カテスト
8日（金）	第4回補導委員会代表者会	11月14日（木）	文化財見学
30日（土）	高尾山祭典特別補導	21日（木）	伊豆の国市グループ活動
12月13日（金）	県内一斉補導	12月 5日（木）	農業体験（みかん収穫）
		19日（木）	調理体験
			※天候等諸事情により、変更することがあります。

明るい子どもが育つまち

青少年健全育成シンボルマーク



青少年健全育成都市宣言（昭和55年）

あいさつで ひろがる愛の輪 地域の輪

青少年を、優しく温かい心で包み込むという思いから、右側は笑顔、左側は手のひら、全体はハート（心）を表しています。